


3学年便り 7月

No.4 H22.7.2

先々月、5月に中間考査がありました。生徒達は試験が終わりほっとしていることと思われます。しかし、昨日で期末考査が終了しました。3年生にとって、1学期の成績は、1学期の評価ともう一つ大切なもの「3学年仮評定」がつきます。この「3学年仮評定」は、進路を決定するうえでとても大切なものになります。1・2年の評定・そして3年の仮評定の各教科合計の平均値が「評定平均値」といって、推薦入試（指定校・公募）や就職などの校内選考の資料になります。ですから、3年生にとって、1学期の成績は人生を決める大切なものになります。中間・期末考査は終わってしまいました。ですから、この考査がいかに大切なものなのか理解されたと思います。さあ、進路実現に向かって、計画的なプランを作成し、頑張らしましょう。また、今月・来月は進学・就職の推薦試験が行われます。提出書類や、日程などをきちんと把握し責任ある行動が取れるようにして下さい。

今月・来月の行事予定を載せました。参考にして下さい。

7月の行事予定

1日(木)	期末考査		
2日(金)	評議委員会		
7日(水)	野球応援練習		
8日(木)	〃		・就職模擬試験
12日(月)	高校野球試合		佐竹高校戦
20日(火)	終業式		
21日(火)	三者面談・夏季課外		
23日(金)	三者面談・夏季課外		
24日(土)	河合模試		
27日(火)	三者面談・夏季課外		就職者面接試験
29日(木)	三者面談・夏季課外	就職者面接試験	

8月の行事予定

13日(金)	本校舎施錠	
15日(日)	本校舎施錠	
17日(火)	夏季課外(24日まで)	
18日(水)	就職者受験申込	
20日(金)	就職者学校長推薦選考	
23日(月)	就職者選考結果発表	
25日(水)	就職者書類提出・模擬試験	
27日(金)	進学者学校長推薦選考	

芸術鑑賞会報告(日立市民会館にて)

6月3日(木)に芸術鑑賞会が午後開かれました。「Touch～孤独から愛～」という演劇を鑑賞しました。下記に生徒の感想文を載せましたので、自分の感想と感じ方がどう違うか読んでみてください。

3年2組 菅谷祐介

私がこの劇を見た後に最初に感じた事は劇中に登場した老紳士ハロルドのような人物に出会える事など奇跡に近いのではないかとことです。劇中では元々孤児であったハロルドが同じく孤児である兄弟にシンパシーを感じて二人の兄弟を救おうとしました。二人がこの老紳士に出会ったことは奇跡でしたが、この奇跡を起こすには老紳士のような人格者が存在しなければなりません。私もこのような人物になりたいと思いました。

またこの劇には三人しか出演していないことにも大変驚きました。通常5人は欲しいところを3人で、しかも客を飽きさせることもなく演じるのはひとえに役者さん達の技量なのだろうと感じました。

ステージのセットについても、1970～80年代の雰囲気がよく再現されていると感じました。実際にセットの移り変わりが一度もなかったのに気にならなかったです。

最後に東京演劇集団 風さんはこの『Touch～孤独から愛～』をもう20年近く講演なさっているそうです。原作の『孤児たち』から月日を重ねてその物語を熟成させながら今にいたるのだと感じました。この一つの集大成である劇をこの機会にお目にかかれることは大変幸運だったと思います。



(芸術鑑賞会にて)

茨城県 初卓球部関東大会優勝

6月4日～6日で第60回関東高等学校卓球大会が開催されました。会場は栃木県宇都宮市体育館で行われました。そこで女子ダブルス3年齋藤あかね・橋麻衣子が長い歴史の中、茨城勢で初めて優勝しました。おめでとうございます。インターハイも期待しています。また、2人のコメントを載せます。(2人のコメント)



(左から齋藤・橋)

私達は今回の関東大会出でダブルス優勝という成績を残すことが出来ました。決勝戦で勝利した瞬間は実感がわきませんでした。今、やっと実感がわいてきました。過去の関東大会では、どの種目でも日本人が優勝したことがありませんでした。先生方から歴史を変える快挙だと言われました。そのような素晴らしい結果を残せたことをとても嬉しく思います。指導してくださった先生やコーチ、応援してくださった保護者の方々やチームメイトに感謝したいと思います。最後にこの結果に気を抜かずインターハイ県予選を突破して、沖縄インターハイでも良い成績が残せるように頑張りたいと思います。

日本大学特別講義

日本大学の特別講義が6月11日の6・7時間目に行われました。内容は次の通りです。

日本大学理工学部電機工学科 三浦光先生

「学問の楽しさと日本大学理工学部の取り組み」について



理工系の楽しさとは何か？自分で考えて自分で解決する学問である。理学とはものごとの本質をあきらかにして、世の中に役立つ必要な学問ものである。

高校と大学の違いは何か？大学の特色あるカリキュラムの中で、学生のやりたいことを支援しています。

創造型技術人を養成しています。

日本大学文理学部数学科 黒田耕嗣先生
「日本大学文理学部の教育の特色」について



文理融合を理念として掲げた総合学部で、学生の個性を育み可能性を広げる学部。基礎教育科目の中で現代社会に対応するために外国語・コンピュータには特に力を入れている。数学科は楽しみながら数学を学び本物の「創造する力」を身につけられるよう Visual Math(コンピュータを用いて現代数学に触れる授業)を導入。魅力的である。

コース科目では保健・金融のエキスパートを目指すアクチュアリーコースに注目！資格取得のために東京大学の学生も授業を受けている。現在資格持っているのは全国で1,000人程度

で貴重な存在。

オープンキャンパスは7/18(日),19(月)の2日間。全体説明・昨年度入試問題解説会等メニューが盛りだくさんなので是非参加して下さい。

ソフトテニス女子(ダブルス)インターハイ出場決定

6月11日～13日に行われました全国高等学校ソフトテニス大会の県予選で見事、倉持(3年)・草地(2年)ペアが女子ダブルスで優勝し、インターハイ出場を果たしました。おめでとうございます。全国大会は8月10日(火)から沖縄で始まります。暑さに負けず、体調管理に気を付けて頑張ってください。次に倉持さんのコメントを載せました。



(倉持さんのコメント)

私は、個人ダブルスでインターハイ出場を決めることが出来ました。インターハイに出場できるのは上位6ペアまでです。私は、ベスト4決めで、多賀高校に負けてしまいました。ベスト8に残ったペアから上位2ペアに残り、インターハイに行くことが出来ました。インターハイを決めて、私は、いろいろな人に感謝しました。色々な方の支えがあったからこそ、残せた結果だと思います。これからのインターハイに向けて、感謝の気持ちを忘れず、ベストを尽くして頑張りたいと思います。

(左から倉持さん・草地さん)

教育実習生感想

3週間教育実習を行ってコミュニケーションの大切さを知りました。最初は不安なことばかりで生徒とも積極的にコミュニケーションをとることが出来なかった私も、生徒から挨拶や話をかけてくれ不安がなくなり自分からでも積極的にコミュニケーションをとることが出来毎日楽しい生活を送ることが出来ました。教育実習は大変なことはありましたが、それ以上に生徒とのふれ合いなど楽しいことが多く教師という仕事に魅力を感じました。明秀日立の先生みたいな教師になりたいと思ったので、もっと勉強して頑張りたいと思います。とても貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。



海野 友絵さん(日本女子体育大)

卓球女子(ダブルス2位・シングルス2・3位)インターハイ出場決定



高校生最後のインターハイ県予選会では、激戦を制し沖縄への切符を手にする事が出来ました。毎日の練習で培った自信、さらに関東大会でのダブルス優勝で、精神的にも強くなったと思います。本大会では、臆することなく沖縄の真夏の太陽に負けない熱い気持ちを白球にぶつけていきます。熱戦を期待してください。皆さん応援よろしくお願います。(斎藤 あかね)

私はインターハイ予選でダブルス2位、シングルス3位代表になることが出来ました。団体戦で代表になれなかったことはすごく残念でしたが、その分、本戦ではダブルスもシングルスも1回でも多く勝ち上がって最高のプレーが出来るよう頑張ります。(橋 麻衣子)